

こんにちは！

小平市立小平第二中学校
学校経営協議会

です

R6.8.1
No.2
①

会長
横山典子

コミュニティ・スクールだより (CS)

7月3日、第2回 コミュニティ・スクール委員会 開かれました

※1

※2

1 二中 1 学期のようす

先生方より二中の一学期の様子を報告していただきました。

- ・ 中間テストを2日間→1日間での実施したことの評価を行っている。
- ・ RIKUTAIを立派に成功させた半面、大きな行事後の気の緩みも見受けられる。
- ・ 6月8日は「こだいら特別活動の日」として市内全小中学校で公開授業を実施。合意形成に基づいた授業の実施を行った。午後には全小中学校の児童・生徒の代表者が集まり、サミットも開催。二中校区（二中・六小・十三小）は、「ハッピー 仲良く助け合い 一人一人を大切にしよう」が標語に決定。
- ・ 特別支援学級G組は6月21日にバスケットボール大会に参加。3年生は7月に職場体験の予定。

2 校内研究

「生徒の非認知能力を高める指導方法の工夫」

～自分の考えを持ち、自分の言葉で表現し、行動にうつす活動を通して～

今年度から二中が小平市の研究指定校として取り組む上記研究について、相澤副校長より以下のような経過報告がありました。

- ・ 「非認知能力」とは…目標達成のために、他者と協働し、自分の気持ちを制御する力など「社会情緒的スキル」と言われています。
- ・ 校内研究会の協議で：二中生の実態把握→目指す生徒像→具体的取組みの検討
- ・ 全教育活動で実施
- ・ 2年間で取り組んでいく

※小平二中だより4月号・7月号もご覧ください



～委員の声～

「非認知能力」って子どもたちが大人になっても、社会で自分の力を発揮するために大切な力なんですね

家庭・地域でも育てる働きかけ方を知りたいわ



※1 コミュニティ・スクール（CS）＝学校経営協議会が設置されている学校

※2 CS委員会＝学校経営協議会



3 自閉症・情緒障がい特別支援学級への理解

来年度から二中に開設される「自閉症・情緒障がい特別支援学級」について、どんな準備がなされているのか？生徒や保護者・地域の人はどう迎えたらいかなど、第1回のCS委員会から注目していることの一つです。
※2

今回は準備委員でもあるG組主任の五十嵐先生に講義をしていただきました。開設される固定学級の説明の前に、G組・特別支援学級（知的障がい）とは？発達障がいとは？といった基本的な内容から教えていただきました。

○「自閉症・情緒障がい特別支援学級」は…

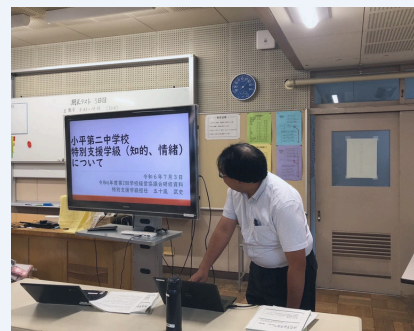
*発達障がいなどにより、通常学級で活動することが難しい生徒を対象とした学級です。生徒はその学級に在籍し、毎日通い、学習します。

*教室等は二中北校舎2階フロアを使用

*初年度は各学年8名（計24名）までを想定。

（実際の入級者数は申込みの状況で変更あり）

○「互いを認め、互いを助けられるように、関心をもって正しく知ってほしい」



～委員の声～

発達障害は、実はいろいろな人の延長線上（スペクトラム）にあって、障がいのあるなしを問わず、多様な人がいるということですね。

※参考：小平市HP「小平第二中学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設します」

<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/110/110880.html>

互いを認め、自分も認めてもらう、一人ずつを大事にする、その考えを固定級を知ることを通して考えました。



4 研修会を計画中です

少し先のお話ですが・・・

11月9日（土）に東京学芸大学教職大学院 准教授 増田謙太郎先生と国分寺二中 自閉症・情緒障害特別支援学級担任 三村佑翔先生をお招きし、「自閉症・情緒障がい特別支援学級への理解」についてCS委員会の中で講義をしていただく予定にしております。二中保護者の方や地域の方も
※2
ご参加可能です。午前中は学校公開もあります。ぜひ二中へ足をお運びください！



今後は「小平二中コミュニティ・スクールだより」を年に数回学校のHPなどでお伝えしていく予定です。学校と地域の様々な団体や保護者が一体となり、これからの未来をつくる子どもたちと一緒に応援していきましょう！

問い合わせ先
小平二中 副校長 相澤史彦

☎042-341-0244

✉gakkou@32.kodaira.ed.jp